

令和7年度 学校経営計画書

学校番号	68	学 校 名	静岡県立磐田西高等学校	校 長 名	西村 智子
------	----	-------	-------------	-------	-------

1 スクール・ミッション

普通科と総合ビジネス科を併設する、生徒の多様な進路希望に対応する学校として、地域との連携に基づき、グローバルな視点を取り入れた探究的な学習を通して、広い視野を持った、地域・社会に貢献できる人の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
校訓「道 自ら求め 自ら拓く」の精神を基に、向上心を持って自ら学び、主体的に活動ができ、グローバルな視野を持って地域・社会に貢献できる人を育てます。 ・基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、生涯にわたって学び続ける姿勢を持った人 ・社会生活で求められる自己管理能力を身に付け、社会環境の変化に柔軟に対応するたくましさを持った人 ・人権を尊重し他者を思いやる姿勢を身に付け、主体性を持って多様な人々と協働できる人間性を持った人	多様な進路希望に対応した教科・科目の設定や探究活動の充実を図るとともに、教育用クラウドサービスやICT機器等、また各種資格・検定試験等を有効に活用した学習支援を推進し、主体的に学ぶ力を育成します。 【総合ビジネス科】 学校での学びと実社会のつながりを意識した実践的・体験的な学習活動や、地域行政・産業分野と連携した活動を取り入れるとともに、専門科目の充実を図り、生徒一人一人が設定した目標を達成するためのきめ細かな指導・支援を行います。 【普通科】 主体的・対話的で深い学びを実現する授業や諸活動を通して生徒の知的好奇心を喚起し、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るとともに、それらを活用して課題に取り組むことにより、思考力・判断力・表現力をさらに向上させる指導・支援を行います。	将来の夢や目標を持ち、高等学校卒業後の進路実現に向けて、自分自身で考え行動できるようになりたい生徒を求めます。 ・日々の授業を大切にし、また各種資格・検定試験等に挑戦することによって、自分の能力を高めたいと思う生徒 ・学校行事や学級活動、地域活動等に参加し、様々な体験や経験をしたいと思う生徒 ・自分と他者のよさを大切にし、互いに励まし合い、学校生活において健全な人間関係を築きたいと思う生徒

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 基本的な生活習慣の確立と高い規範意識の育成により、豊かな人間性を醸成する。
- イ 主体的に学ぶ姿勢の形成を促し、確かな学力と幅広い教養を育成する。
- ウ 普商併設の特色を生かし、地域・社会と連携しながら、生徒一人ひとりの自己実現を支援する。
- エ 人権を尊重し、他を思いやる姿勢を土台とした人間関係形成力を育成する。
- オ 家庭や地域等との連携を基盤とした、安心・安全で信頼・応援される学校づくりを行う。
- カ 生徒及び教職員が、生き生きと学校生活を送ることのできる環境を整備する。

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	基本的な生活習慣の確立と高い規範意識の育成により、豊かな人間性を醸成する。	行動指針「あせふこ＋（プラス）」（挨拶・清掃・服装・校歌＋コミュニケーション）への理解と実践を促す。	・『あせふこ＋（プラス）』の意味と意義を理解し、意識して生活している」生徒 90%以上 ※「気持ちの良い挨拶を自分からしている」生徒 80%以上 ※「制服（頭髪を含む）を正しく着用している」生徒 90%以上	全校
		日々の教育活動を通じて、学校生活・社会生活におけるルールやマナーを順守させる。	・日々の学校生活の中で個々の生徒に声を掛けている。 ・「ルールやマナーの意義について考え、主体的に守ることができた」生徒 90%以上	生徒課 学年部
		予定と時間を意識した行動を促す。	・「8：25 朝読書を開始している」生徒 90%以上 「チャイムと同時に授業開始の準備ができています」生徒 90%以上 ・「次の予定と時間を意識した行動をしている」生徒 90%以上	教務課 学年部
		学習・活動環境の整理整頓と清潔を保つ。	・美化委員会・保健委員会による週末清掃点検の実施	保健課 生徒課
イ	生徒が主体的に学ぶ姿勢の形成を促し、確かな学力と幅広い教養を育成する。	教員相互による授業見学や教科会議での意見・情報交換を通じて、自らの授業改善に積極的に取り組む。	・「他教員の授業を見学し、自らの授業改善を行った」教員 80%以上	教務課
		情報セキュリティに対する意識を高めながら、学習活動の目的に応じて学習支援ツールや教育用クラウドサービス、個人端末等の ICT 機器を積極的に活用する。	・「ICT を活用する授業を行っている」教員 80%以上 ・「情報セキュリティを意識しながら学習支援ツールや教育用クラウドサービス等を活用した」教員 80%以上	情報管理課 教務課 進路課 学年部 各教科
		理解の質を高め、思考力・判断力・表現力を向上するために、生徒による主体的な活動や生徒同士の対話等を教育活動に取り入れる。	・「生徒による主体的な活動や生徒同士の対話等のある授業・諸活動を行っている」教員 70%以上	学年部 各教科
		授業での学習内容と関連した適切な課題を設定し、家庭学習習慣の定着を図る。	・「平日 1 時間、休日 2 時間以上の自主学習ができています」生徒 40%以上 ・「オンライン学習サービス等を活用して学習している」生徒 70%以上	教務課 進路課 各教科
		測定ツールや学習時間調査、授業アンケート等を授業改善に活用し、生徒の学習習慣等の改善に対する助言を行う。	・「測定ツールやアンケートを活用して学習習慣等の改善に対する助言を行った」教員 70%以上 ・「学校の教育活動で、生徒は『学ぶ姿勢』が身に付いている」保護者 80%以上	教務課 進路課 各教科

ウ	普商併設の特色を生かし、地域・社会と連携しながら、生徒の多様な学習ニーズや進路希望に対応し、自己実現を支援する。	生徒が多様な進路を知るとともに、自身の興味・関心を深め、職業観を身に付けることができるよう、進路行事等の運営を工夫する。	・「学校からの進路情報や進路指導は適切である」生徒 90%以上 ・「学校の進路指導は適切であり、三者面談等は満足 of いく内容である」保護者 80%以上	進路課 学年部
		「双翼タイム」(「総合的な探究の時間」)において生徒が自ら課題を設定し、地域や外部機関等と関わりながらその解決に取り組む活動を推進する。	・『双翼タイム』は、自己の在り方生き方を考えながら、課題を発見し、解決する力の向上に役立っている」生徒 70%以上	双翼タイム 進路課 委員会 学年部
		学校外で生徒が参加できる活動等の情報を積極的に発信し、大学や他の学校、地域・社会・世界と関わる活動への参加を促す。	・「個人で、または部活動や委員会活動を通して、地域行事やボランティア活動、国内・海外研修等に年1回以上参加した」生徒 60%以上	生徒課 図書課 総ビ科 学年部
		学びの場として魅力ある図書館づくりと朝読書を中心とした読書習慣の形成により読書活動の充実を図る。	・「図書館を通じた読書活動の推進が活発に行われている」生徒 60%以上 ・「年間7冊以上の本を読む」生徒 70%以上	図書課
		進学補習の充実を図るとともに、社会的に評価される各種資格・検定試験等への積極的な挑戦を促す。	・「進学補習を活用した学習や資格・検定試験に挑戦した」生徒 50%以上	総ビ科 各教科
エ	人権を尊重し、多様な価値観を認め、互いに支え合う姿勢を土台とした人間関係形成力を育成する。	人権や情報モラルに関する講座や授業を通して、人権意識の高揚を図る。	・いじめ等に関する指導案件なし ・「人権や情報モラルに関する講座や授業を通して、人権意識が向上した」生徒 80%以上	教務課 情報管理課
		教職員も生徒も、相手の話を傾聴し、時と場に応じた丁寧な言葉で話しながら相互の理解に努める。	相互に円滑なコミュニケーションを図ろうとする姿勢・雰囲気がある。	全校
		「認める・励ます」を基本とした、自己肯定感を育む生徒・教職員の関係をつくる。	・「先生方は私の良いところを認め、意欲や向上心が高まる言葉をかけてくれる」生徒 90%以上	全教職員
		面接週間や相談室、SC、支援アンケート等の活用により、適切なケアを行うとともに、必要な情報を教職員で共有し、個々の生徒に最適な支援を行う。	・「学校生活の悩みについて、先生方やスクールカウンセラーに相談できる」生徒 70%以上 ・「先生は保護者からの連絡・悩み・相談したいことについて、適切に対応してくれる」保護者 85%以上	保健課 全校

オ	家庭や地域等との連携を基盤とした、安心・安全で信頼・応援される学校づくりを行う。	授業や学校・学年行事、部活動等の様子をホームページ等で積極的に広報し、学校に対する地域の理解を深める。	・学校・学年行事、学習活動、課外活動等について、週1回以上のホームページの更新を行っている。	情報管理課 学年部 各教科 各部活動
		生徒向け、保護者向けの各種たよりのデジタル配信を推進し、ペーパーレス化を図る。	・教育用クラウドサービスやメール配信サービスを最大限活用し、効率よく効果的な情報提供を行っている。	情報管理課 全校
		防災・交通安全・健康に関する講座や活動の実施により、命を守り、健康を増進する意識を向上させる。	・地域防災訓練参加生徒及び教職員70%以上 ・「災害時に対応できる」生徒75%以上 ・「交通ルールを遵守している」生徒90%以上 ・「健康に関する講座を通して意識が向上した」生徒80%以上	総務課 生徒課 保健課
		コンプライアンスに関する月例研修や日常的な相互の声掛けにより、教職員が危機管理意識を向上する。	・教職員の事故及び不祥事なし。 ・監査等において指示、指摘事項なし。	管理職 全教職員
		学年・分掌・部活動等の各部署において、学校経営予算等の適正な執行及び会計報告を行う。		事務部 全教職員
カ	生徒及び教職員が、生き生きと学校生活を送り、学び続ける意欲を持つことのできる環境を整備する。	学校行事、ホームルーム活動、生徒会活動、部活動等において、生徒が主体的に活動できるよう教職員が伴走者としてサポートする。	・「本校での学校生活に満足している」生徒・保護者90%以上 ・「学校行事、ホームルーム活動、生徒会活動、部活動のいずれかにおいて積極的に活動できた」生徒80%以上	全校
		校内施設・設備、備品・消耗品等の整備・点検を定期的に行い、修繕等の対応を迅速に行う。	・施設・設備、備品・消耗品が適切に利用されている。 ・月例点検・管理職点検が行われている。	事務部
		各分掌の主催による教職員研修やキャリアステージに応じた主体的な自己研鑽を通じて、一人一人の教職員が自らの資質能力を向上させる。	・「校内および校外での研修や自己研鑽に積極的に取り組んだ」教職員90%以上	全教職員
		業務の平準化に取り組むとともに、分掌の業務を「無くす」「減らす」「変える」の視点で見直し、負担感・多忙感の改善に努める。	・分掌の業務を「無くす」「減らす」「変える」の視点で見直す機会を年2回以上設ける。 ・「業務の負担感・多忙感が改善された」教職員50%	全教職員
		生徒完全下校時刻 19:30 を守らせるとともに、教職員は効率的な業務遂行に努め、週1回の割合での定時退勤に努める。	・「おおむね週1回は定時に退勤できた」教職員80%以上 ・業務の繁忙期であっても、20:00前に退勤する。	全教職員